

未来社会を支える電池技術

概要… クリーンビークル用電源から再生可能エネルギーの利用・促進を支えるエネルギー貯蔵システム用電源、

更には私達の〇〇向上や安全・健康社会に貢献するウェアラブルデバイス・センサ用電源等、電池の用途展開は拡大を続けており要求特性も多岐に渡る。これらの社会要請にこたえるべく、各種電源を長期に渡って安全に使いこなすための技術は日々発展を続けている。本シンポジウムでは、未来ビークルシティの実現を支える「電池技術」に焦点を当て、関連分野で活動中の方々や参入に興味のある方々だけでなく、一般の方々に役立つ情報をお伝えする。



令和4年

12月7日(水)

13:30 ~ 16:35

開催方法 : オンライン配信

申し込み先 : WEB 申込フォームによるお申込み

*以下のリンクもしくはQRコードからお申し込みください。

<https://www.tut.ac.jp/form/rcfvc/-25.html>

プログラム

13:30~13:35 【開会挨拶】

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター
センター長 三浦 純

13:35~14:15 【講演 1】

「チタン酸化物系負極を用いた大型二次電池
~脱炭素、急速充電、長寿命、安心・安全を目指して~」

株式会社東芝 研究開発センター 首席技監 高見 則雄

14:15~14:55 【講演 2】

「地球環境問題に果たす電池の役割と PEVE の取り組み」

プライムアース EV エナジー株式会社 先行開発部

部長 武田 幸大

14:55~15:10 【休憩】**15:10~15:50 【講演 3】**

「FDKの次世代電池(仮)」

FDK 株式会社 基盤技術統括部

統括部長 山本 慶太

15:50~16:30 【講演 4】

「硫化物型全固体電池の現状と課題」

東京工業大学 物質理工学院 応用化学系

教授 平山 雅章

16:30~16:35 【閉会挨拶】

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター
副センター長 稲田 亮史

参加費
無料